

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

2 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	国語
グループ名、人数		6グループ 11名		担当教員	◎福田
ねらい		(1) 様々な文章に触れ、理解を深めるようにする。 (2) 友達の発表を聞き、自分の視野を広げることができるようにする。 (3) 自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語 (日本教育研究出版)	
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	・漢字読み書き		○漢字や語句の読み書きをする。 ▲個々のレベルに合わせた漢字の読み書きができる。		・タブレット端末のアプリやワークシートを準備し、繰り返し練習する。 ・視聴覚教材を活用する。
4	1年次の復習 ・文法 (接続詞、主語・述語・修飾語) や敬語の理解	6	○物語を通して、心情を理解し、自分の考えを相手に伝える。 ▲質問に対して答えられる。 ○主語、述語、修飾語の問題を解く。 ▲文のきまりを理解することができる。		・ワークシートや視聴覚教材を活用する。
5	作文・意見文を書く	5	○出来事や体育祭を振り返り、作文や意見文を書く。 ▲順序だてて、書くことができる。		・予め書きたい内容を、ワークシートにまとめるようにする。
6	お礼状を書く	8	○時候の挨拶を知り、お礼状を書く。 ▲書き方のマナーに気を付けて、ボールペンで丁寧に書くことができる。		・ワークシートを用いて、様々な時候の挨拶を学べるようにする。
7 9	本を読む 本の紹介POP作り	13	○物語を読もう ○おすすめ本の紹介POPを作る。 ▲題名や作者名、おすすめする理由をまとめることができたか。		・生徒が興味をもちやすい題材を用意する。 ・作品例を提示する
10	詩	8	○詩の朗読をする。詩を創る。 ▲テーマに沿って、自由な技法で詩を創ることができる。		・様々な詩を読みながら、詩の技法を学ぶ。
11	新聞記事の読解	6	○新聞から興味のある記事を探して読む。 ▲漢字の読みを調べたり、記事の大まかな内容を読み取ったりすることができる。		・ワークシートに読み取る項目を示し、要点を意識しながら読むことができる。
12	年賀状を書く	5	○送る相手を考え、年賀状を書く。 ▲年始のあいさつを知り、年賀状を書くことができる。		・文例を提示し、具体的なイメージがもてるようにする。
1	書写 百人一首	7	○毛筆で文字を書き伝統文化に触れる。 ▲自分なりの文字を表現する。 ○百人一首を通し、和歌や日本の文化に親しむ。 ▲日本の伝統文化を知ることができる。		・書き順などを丁寧に伝える。 ・タブレット端末を活用する。
2	ことわざ、慣用句	8	○ことわざや慣用句の意味や使い方を知る。 ▲ことわざや慣用句を使った文を作ることができる。		・プリントを用いて、使い方の例を学ぶことができるようにする。
3	1年間のまとめ	4	○1年間の学習内容を総括する。 ▲学習したことを振り返り、印象に残った学習を具体的に発表することができる。		・学習ファイルを整理しながら、学習したことを振り返る。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	社会
グループ名、人数		6グループ 11名	担当教員	◎伊神	
ねらい		(1) 日本の諸地域の特色や文化について情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 国内外のニュースや産業などについて考える力を養う。 (3) 社会生活に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。			
年間授業時数		18 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10 11 12	我が国の地理や歴史	7	○自分が住む地域 (道路、地形、地図) ▲基本的な地図記号を活用し地図から情報を読みとることができる。 ▲地図を見て道路、線路、河川、山の見分けがつく。 ○日本の各地域の特色、文化、歴史について調べる。 ▲調べるにあたり、地図や ICT 機器を活用することができる。	・基本的な地図記号を確認し、地図や航空写真を活用し、学校周辺の歴史の移り変わりについても触れる。 ・ICT機器を活用できるように、手順をモニターで映すなど自発的に ICT 機器が利用できるように配慮する。	
1	我が国の国土の自然環境と国民生活	3	○災害の種類や発生の位置や時期、防災対策 ▲自分の地域での風水害を調べることができる。	・マイタイムラインを使用し、風水害における避難行動を確認できるようにする。	
2	産業と生活	2	○生産、消費などの経済活動(色々な仕事) ▲自分の手元に商品が届くまでの過程を調べ、理解できる。 ▲説明を受け、製造業やサービス業などに自分の力で分類することができる。 ○生産、消費などの経済活動(物を売る、買う) ▲消費者と販売者双方の希望を考えて、ロールプレイをすることができる。	・インターンシップや進路見学会、現場実習先など題材にする。 ・興味のある産業を選んでもらい、自発的に調べることができるようにする。 ・消費者、販売者双方の役を体験できるように、計画する。	
3	社会参加のきまり	6	○社会生活に必要な決まり(選挙と自治) ▲法やきまりを守ることが快適で安心、安全な生活につながることを理解できる。 ▲生徒会選挙が無記名投票である理由を理解できる。	・生徒会選挙を参考にしながら、選挙のルールについても触れる。 ・実際に「みんなでやりたいこと」等、5つ程度の選択肢を挙げる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	数学
グループ名、人数	6グループ 11名		担当教員	◎鈴木	
ねらい	<p>(1) 数量や図形などの基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に解釈、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数理的に捉えて、筋道を立てて考察する力、数量や図形などの性質を統合的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現し、目的に応じて柔軟に対応する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学（日本教育研究出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通 年	整数・小数・分数・四則計算・文字式	通年	<p>数と計算</p> <p>○定着度確認後、各自のレベルに合わせた個別のワークシート等に取り組む。</p> <p>▲意欲的に計算に取り組み四則計算等が正しくできる。</p> <p>▲意欲的に生活に活用できる。</p> <p>○基礎的な計算問題</p> <p>▲基礎的な四則計算に取り組み、正確な解答に近づいたか。</p> <p>▲電卓を正確に操作することができたか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを提示して、援助が必要な生徒には机間指導で個別に対応する。 ・難解な問題にならないように各自のレベルを的確に判断する。 ・速く正確に計算処理できるように、ポイントを指摘しながら繰り返し練習する。
4 5 6 7	量と大きさ (大きさ調べ)	10	<p>○地域の地図などを提示して、kmなどの単位が使われていることを理解する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・測定用具を提示して、測定方法及び測定時の注意点（0に合わせる、目盛り）を確認する。
	長さ、重さの測定、単位 単位の種類	10	<p>○はかりの1目盛りの読み方。</p> <p>▲自ら意欲的に測定する。</p> <p>▲測量用具を使って正確に測定し、単位も知る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・体験的に理解できるように実際に測量する機会を多く設定する。
	図形（平面、空間図形） 名称、図形、作図	10	<p>○三角形や四角形</p> <p>▲基本的なそれぞれの平面図形の違いを理解している。</p> <p>▲身の回りの物の形を図形として捉えることができる。立体を操作して観察する。</p> <p>▲様々な図形を作図しようとする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを活用して視覚的に分かりやすくする。
9 10 11 12 1 2	時計と時刻 (時間と時間管理)	20	<p>○アナログ、デジタル時計を使用し、時刻を感覚的に理解できるように繰り返し練習する。</p> <p>▲積極的に時刻や時間の取り組むことができる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ時計の時は針を動かして、時間の計算が視覚的に理解しやすいようにする。 ・生活に役立つ内容を取り入れる。
3	金銭 (金銭の応用) ・種類、計算	20	<p>○練習用のお札を使用し、感覚的にお金を扱えるようにする。</p> <p>▲金銭の学習の大切さを理解し意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○小遣い帳等の見本を提示して、お金を管理する。</p> <p>▲収支の管理ができる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・消費税等の計算のやり方練習を行う。 ・大きな額の計算や消費税には電卓を用いて計算処理をするように支援を行う。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	理科
グループ名、人数	6グループ 11名		担当教員	◎野中	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な知識を理解する。 (2) 基礎的な観察や実験を行い、初歩的な技能を身に付ける。 (3) 自然に関心をもち、自然を愛する心情を養う。				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	動物の誕生	4	○動物の誕生(卵生、胎生) ▲生物の特徴を知り、分類ができるようになる。 ▲生物の発生の仕方を知る。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
5	植物の構造と機能	4	○植物の体のつくりと機能 ▲植物の体のつくりとそれぞれの機能について理解する。 ▲光合成、呼吸、蒸散など、植物の営みについて知る。	・実際の植物の観察、比較を行う。 ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
6 7	電流の働き	5	○電流の働き ▲電流などの電気の基礎的な知識を身に付ける。 ▲電気の安全な使い方を知る。	・乾電池などを使い、基礎的な実験を行う。 ・身近な電化製品などを題材にする。	
9	地球の内部と地表面の変動	4	○地震と火山 ▲地震や火山による土地の変化を知る。 ▲地震や火山の被害について知る。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・社会の防災にも関連付けて指導する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	音楽
グループ名、人数	5・6グループ 19名		担当教員	◎滑川 松本 鈴木(水) ／鈴木 横山(木)	
ねらい	(1) 器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲や演奏のよさを見いだしながら音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	レッツコーラス「音楽之友社」		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 「生演奏」 「日本歌曲」 様々な国の音楽	通年	○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・演奏に注目できるように環境を整える。	
4	身体表現 「ダンス」	20	○振り付けを覚え、リズムにのってダンスをする。 ▲振り付けを覚え、身体表現をすることができる。	・映像や正面の教員の動きを見るなど、視聴覚教材を活用してイメージをもちやすくする。	
5					
6			器楽 「和太鼓」	○リズムを意識して、太鼓を叩く。 ▲奏法を覚え、口伝を覚えて演奏することができる。	・鉦や伴奏を活用し、リズムにのって演奏できるよう支援する。
7	歌唱	○曲の雰囲気を感じ取り、メロディーにのって歌う。 ▲伴奏を聴きながらメロディーにのって歌う。	・初めはメロディーをピアノで弾き、徐々に支援を減らしていく。		
9	器楽「合奏」	35	○ハーモニーを感じて演奏する。 ▲教員の手本を模倣して、楽器の演奏をする。	・教員が正面で手本を見せ、模倣できるようにする。	
10	鑑賞 「音楽鑑賞会」		○様々な国の音楽に触れ、様々な楽器の音色に親しむ。 ▲静かに鑑賞することができる。	・教員が生演奏を行い、拍手のタイミングや静かに鑑賞する練習をする。	
11	歌唱・身体表現		○リズムにのって身体を動かしたり歌ったりすることができる。 ▲曲想を感じ取って表現することができる。	・視聴覚機器を使用し、興味をもてるようにする。	
12	「文化祭の歌やダンス」				
1	器楽 「合奏」	15	○有音程の楽器と合わせて、打楽器等も活用し合奏をする。 ▲合奏の楽しさや達成感を味わう。	・タイミングが分かりやすいよう簡易楽譜を作成し提示する。	
2	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」		○旋律をのびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・映像を見るなど、視聴覚教材を活用してイメージをもちやすくする。	
3	「国歌」				

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	美術
グループ名、人数	5・6グループ 19名		担当教員	◎宮本 坂尾 星野	
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
年間授業時数	70単位 時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元(題材)名	指導 時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通 年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通 年	○作品を生活の中で生かす。 ▲作品を介したコミュニケーションができる。 ○制作成功体験を積み重ね興味関心を高める。 ▲造形活動に主体的に取り組める ○自他の作品の価値に気づく。 ▲自他の表現の違いや良さに気づく。		・制作を介して人と関わり作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。
4 5 6 7	オリエンテーシ ョン	2	○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味関心をもち活動に参加できる。		・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。
9	デザイン	6	○体育祭のスローガン幕やポスター作り。 ▲適切な道具の使用方法を意識し制作できる。 ▲目的を意識して制作ができる。		・扱いやすい素材で制作する。 ・制作方法を見本などで分かりやすく提示する。
	表現の広がり	16	○情報機器や粘土等を使用して自分の世界観を表現する。 ▲アプリの使い方に慣れることができる。 ▲楽しみながら表現することができる。		・自由に発想することが苦手な生徒の為に選択肢を準備する。
10 11 12	文化祭に向けた 取り組み	12	○文化祭舞台道具を制作する。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。		・同学年の仲間と協力し完成できることを意識する。
	絵画	16	○体験したことを表現する。 ▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。		・学校行事の体験とつながる題材を取り上げる。
1 2 3	絵画技法	16	○墨の濃淡による表現 ▲墨の濃淡の違いを体験しながら表現することができる。		・東洋の美術作品などの鑑賞を行う。
	工作		○立体物やプラ板などの工作。 ▲素材を変化させる道具や方法を学び、主体的に制作できる。		・扱いやすい素材と道具を用意する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	5, 6グループ19名		担当教員	◎藤代 (月) 川野・飯樋 (水) 川野・飯樋 (木) 程田・坂尾	
ねらい	(1) 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 (2) 自他の運動課題を発見し、解決のため工夫したり、仲間と考えたりする力を養う。 (3) 自主的に運動する態度や健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育 (東洋館出版社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	体づくり運動	通年	○ヨガ・集団行動・体力を高める運動・ 体ほぐしの運動 ▲体を動かす楽しさや心地よさを味わ うことができる。	・キーワードや位置などを 視覚的に示し、主体的に 動けるようにする。	
4	陸上競技	7	○短距離走 ▲行い方を理解し、基本的な技能を身 に付けることができる。	・視覚的にスタートの手順 やコース、ゴールの位置 などを示す。	
5	ダンス 体づくり運動	12	○体育祭の種目 創作ダンスや集団行動等 ▲身体の動きを模倣したり表現したり することができる。	・動画を活用して、動きの イメージをもてるよう にする。	
6 7	水泳 体づくり運動	20	○水中歩行、アクアビクス、泳法 ▲楽しさを味わい、行い方を理解する ことができる。 ○新体力テスト ▲器具を安全に使い、記録を測定する ことができる。	・ポイントの提示や見本を 示し、測定方法を理解し やすくする。 ・水に慣れる活動や浮遊具 を取り入れ、不安感を軽 減する。	
9 10 11	球技 器械運動	31	○バスケットボール ▲基本的な技能を身に付け、簡易化さ れたゲームができる。 ○ボッチャ ▲基本的な技能を身に付け、簡易化さ れたゲームができる。 ○マット運動・平均台運動 ▲器械、器具を使った運動に進んで取 り組むことができる。	・投げる場所や目標などを 視覚的に示す。 ・タブレットを活用し、自 分の動きを理解しやす くする。	
12 1 2	球技 陸上競技	15	○キックベース、サッカー ▲きまりや簡単なルールを守ることが できる。 ○長距離走 ▲目標を決めて友達を助け合いながら 取り組むことができる。	・投げる場所や走る方向な どを視覚的に示す。 ・記録用紙を活用し、自己 記録や目標を意識でき るようにする。	
3	武道 保健	20	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣 して動いている。 ○パブリックとプライベート ▲公共の場とプライベートの区別を知 る。	・映像教材を活用し、イメ ージをもてるようにする。 ・映像教材活用し、イメ ージをもてるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	職業
グループ名、人数	6グループ 11名		担当教員	◎飯樋	
ねらい	(1) 職業について関心をもち、将来の職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2) 体験を振り返り、自分の課題を知る。 (3) 自己理解を深め、職業生活に適応するスキルを高める				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	知的障害・発達障害の人たちのための見てわかる新・ビジネスマナー集 (ジーアス教育新社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 情報機器の活用	毎時 10分	○毎時の挨拶 (お辞儀) をして習慣化する。 ▲挨拶の動作ができる。 ○軽作業 ▲説明書を見て指示通りに作業をすることができ、報告や相談ができる。	・毎時挨拶をして習慣化する。 ・事前に分からないときなどの対応を提示する。	
4	ガイダンス 2年生の進路学習について	3	○2年の学習内容 ▲学習内容についての大まかな見通しをもつことができる。 ○挨拶の仕方の練習 ▲自分から挨拶を行うことができる。 ○身だしなみチェック ▲その場にふさわしい服装について判断することができる。	・教科書やワークシートを参考に書き込めるようにする。 ・繰り返し行い挨拶の仕方を知る。	
5	就業体験 (インターンシップ) に向けて	4	○先輩たちが働いている姿をみる。 ▲将来のイメージをもつことができる。 ▲今後の実習に活かす。	・DVD 教材やLLブックを活用し見て分かるようにする。	
6	働くことについて考える	4	○いろいろな職種 ▲職種を具体的にイメージすることができる。	・写真やビデオで様子を具体的にイメージできるようにする。	
7	働くことについて考える	3	○いろいろな職種 ▲職種を具体的にイメージすることができる。	・写真やビデオで様子を具体的にイメージできるようにする。	
9	現場実習に向けて	3	○実習の目標を考える。 ▲仕事に向かう姿勢を振り返る。 ○軽作業を行う ▲指示を聞いてメリハリをもって行動する。	・個別に強みや弱みを確かめながら進める。	
10	現場実習に向けて	4	○実習の目標を考える。 ▲仕事に向かう姿勢を振り返る。	・個別に強みや弱みを確かめながら進める。	
11	暮らしについて	4	○暮らしの場について ▲グループホームや通勤寮について知る。	・写真やビデオで様子を具体的にイメージできるようにする。	
12	余暇の過ごし方	3	○余暇の過ごし方を知る ▲情報機器を活用することができる。	・先輩たちの余暇の様子を紹介し考えるきっかけになるようにする。	
1	就業体験 (インターンシップ) に向けて	2	○先輩の仕事振りや生活について聞く。 ▲インターンシップ先の名前や日程を知る。	・調べる活動を通してインターンシップの内容や教員と一緒に振り返る活動を行う。	
2	2年次の振り返り	3	○1年の振り返り、課題のまとめを行う。 △活動で行ったことの振り返りを行う。	・ワークシートを使って振り返りを行う。	
3	3年次に向けて	2	○3年次へ向けて進路希望を確かめる。 ▲ワークシートに記入ができる。	・先輩や仲間の意見も参考にできるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	家庭
グループ名、人数		5、6グループ 19名	担当教員	◎横山、野中、福田	
ねらい		(1) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたいことを実現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド(改訂版)	
月	単元(題材)名	指導数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通	住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	毎時	○掃除・ごみの分別 ▲正しく分別することができたか。	・被服室、調理室ごとに掃除の手順やごみ箱等を分かりやすく表示する。	
4	布を用いた製作	4	○刺繍(刺し子)を用いた「エプロン製作」 ▲糸の長さを測り切ることができる。 ▲針に糸を通すことができる。(糸通し使用)	・実際に正しい方法を師範する。 ・作品の出来上がりをイメージできるように、完成品を提示する。	
5		8	▲刺していく方向を覚え、印通り正しく縫う。 ○ミシン掛け	・縫い方や縫う方向等、生徒の実態に応じて印をつけて示す。	
6		8	▲返し縫いの方法を覚え、始めと終わりに行うことができる。 ▲縫う印をよく見て直線縫いをすることができる。	・返し縫いの手順を視覚的に示す。	
7	家庭生活 日常食の調理	6	○家庭生活での役割 ▲家庭の仕事を知り、やってみようと思う。 ○郷土料理を知り、作ろう ▲郷土料理に興味を示そうとする。	・自分の生活と照らし合わせて具体的に考えられるようにする。 ・地方による調理法の違いについて提示する・実際に食材を見る、触れる等提示する。	
9		8	▲基本的な調理道具の扱い方や調味料の計量ができる。 ○刺繍(刺し子)を用いた「エプロン製作」 ▲刺繍・ミシンがけ共に同上。	・刺繍・ミシンがけ共に同上。	
10	布を用いた製作	8	○刺繍(刺し子)を用いた「エプロン製作」	・刺繍・ミシンがけ共に同上。	
11		6	▲刺繍・ミシンがけ共に同上。		
12	日常食の調理	6	○簡単な1品料理をつくる。 ▲基本的な切り方を知り、実践できる。	・一つ一つの手順や方法が分かりやすいように手本や図や動画で示す。	
1		6	▲安全で衛生的に調理を行う。		
2		4			
3	衣類の手入れや服装のマナー	6	○衣類の手入れの仕方を知る。 ○服装のマナーを知る。 ▲洗濯やアイロンがけができる。 ▲場面や場所に合わせた服装のマナーや装い方、服の選び方を知る。	・実際に洗濯機やアイロンを使って理解を促す。 ・外部の専門家による服装についての講習を設定し、理解を促す。	

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 65名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しまう	6	○学年オリエンテーション (2年生の授業や行事を知る) ○学級目標決めと整理清掃活動 ○個人目標決めと整理清掃活動 ○係活動決めと整理清掃活動 ▲2年生の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるよう教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 ~ 3	学級で活動しよう	15	○学級活動(体育学習発表会・校外学習・文化祭・現場実習などの活動の理解、準備反省)と清掃活動 ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意思や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすきようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
6 7	修学旅行について	4	○修学旅行について理解する ▲行程を具体的に知る。 ▲宿泊先や見学先の活動内容を知る。	・視覚教材を利用したり、選択肢を示したりして理解しやすくする。	
9 10 11 12	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備と清掃活動 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の枠割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	2年生のまとめ	2	○学級目標反省と整理清掃活動 ○個人目標反省と整理清掃活動 ○係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気づき、尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	日常生活の指導
グループ名、人数	S類型 46名		担当教員	S類型担任	
ねらい	(1) 身だしなみなどに配慮しながら身の回りのことを処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	175 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶 返事 身辺処理 着替え 衛生 健康管理 朝の会 帰りの会 日直 係活動	175	○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身につけられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認したりすることで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。	・教員が模範となる。 ・要所で言葉かけを行い身に付ける。 ・継続して指導する。 ・場所を固定し動線を分かりやすくする。 ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。 ・定着するよう、継続して取り組む。 ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		S・O類型 62名		担当教員	B、C、D、E、F、G、H、I組担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、目標をもって意欲的に活動する。 (2) 季節行事に関わる活動を通し、日本や外国の文化に触れる。 (3) 行事等の事後学習を通してできたことを振り返り、自信をもつ。 (4) 社会人になるための準備として、様々なことを経験する。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	学校生活に慣れよう	2	○授業内容や行事について知る ▲説明にそって必要事項を記入する。		・各自のしおりに記入する。
5	体育祭を成功させよう	5	○体育祭の事前・事後学習 ▲参加種目を意識して活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。		・体育の学習と関連をもたせて指導する。
6 7 9	世界の国を知ろう	3	○外国人講師との交流を通して、外国の行事や文化を知る。(ALTによる学習) ▲関心をもって外国人講師と交流することができる。		・興味関心のある題材を使用し、外国人講師に自国の特徴や日本との違いを話してもらおう。
	校外学習に行こう	4	○校外学習の事前・事後学習 ○校外を集団で安全に移動する。 ▲行事の内容を知り、意欲を高める。 ▲マナーやルールを守り行動できる。		・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。
	修学旅行へ行こう	6	○修学旅行の事前学習 ○校外の安全な歩行 ▲行事に見通しや期待感をもつ。 ▲マナーやルールを守り歩行できる。		・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。
10 11 12	文化祭を成功させよう	6	○文化祭の事前・事後学習 ○友達と協力しての道具制作を行う ▲自分の役割を意識して活動できる。 ▲友達と協力して製作する。		・イメージがもてるよう視覚教材を使用する。 ・他の教科と関連をもたせて指導する。
1	選挙の仕組み	3	○投票の流れの練習 ▲選挙の投票所での流れを知る。		・視覚教材や実物に近い教材を使用する。
2	長距離走記録会に向けて	3	○長距離走記録会の事前・事後学習 ▲記録会の内容を知り見通しをもつ。		
3	卒業式にむけて	3	○卒業式の内容を知りイメージをもつ。 ○儀式にふさわしい行動を学ぶ。 ▲落ち着いて儀式に参加することができる。		
					・式の流れについて視覚的教材を用いて、見通しをもちやすくする。 ・落ち着いて参加できるように繰り返し行う。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数		65名		担当教員	2年生教員
ねらい		(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・国際文化 ・芸術 ・スポーツ ・環境	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
5		3	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
6		4	○生活に身近な情報の入手方法等を調べる。		
7		3	○地域の外国人とその人たちが大切に行っている文化や価値観について、調べたり、体験したりする。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
9		3	○日本の伝統文化を調べたり、体験したりする。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
10		4			
11		4	○ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3			
1		3	○地域の自然環境や環境問題について調べたり考えたりする。	・問題意識をもち情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
2		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
3		3	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。 ▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 13名		担当教員	◎野中 武山、杉山、伊神、恩村、滑川 (月)高橋 (金)高取、齋藤	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃	通年	○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。	・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、VOCA 機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。	
4月～3月	紙工作業（製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、流し込み、紙すき、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。	・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせ、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。	
2月	就業体験		○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名		担当教員	◎川上、坂尾、程田
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶、報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。		・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し、自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。
	・現場実習	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。
11 12	・文化祭で製品を販売する。 ・販売に向けて製品を作る。	20	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。		・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。
1 2	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。		
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。		・次年度につながる評価表にする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 11名		担当教員	◎鈴木、宮本、藤代、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	2	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農作物の栽培と管理	243	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬などを使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ○穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気付けるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 12名		担当教員	◎横山、飯樋、松本、三浦	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	職業生活	通年	○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」などが言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
	事務 ・販売POP作り ・シール貼り等		○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・ラベル貼りの補助具を活用する。	
	調理 「計量」		○デジタルスケールの扱い方 ▲デジタルスケールの正しい使い方ができる。	・視覚的に分かりやすい表示をする。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使い分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売	67	○打合せ、目標の確認、本日の内容 ▲日誌に目標や作業分担を記入しながら、その日の活動が分かる。 ○身だしなみ、着替え、手洗い ▲身だしなみを整える順番を覚える。衛生面に気を付けて手洗いをする。 ○成型 ▲指示された通り、パンや焼き菓子の種類に応じた成型ができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業をする。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10 11 12 1 2	調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売	135	○袋詰め ▲グラムや向きを合わせて製品を袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。 ○洗浄・片付け ▲すすぎ残しや拭き残しをなくす。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。 ・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・製品に応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	